

ウクライナの医師が、ロボティックストレーニングに関する 意見交換のため来学します

この度、ウクライナから、現在続いている侵攻の結果不幸にも怪我をされた方々の治療を目的に、ロボティックストレーニングの導入を検討されている医師が来日いたします。

その日程の中で、本学を訪問され、医療現場におけるロボティックストレーニングの導入や、ニューロリハビリテーション分野およびそれに関連する最新の知見について意見交換をいたしますので、ぜひ取材くださいますようお願い申し上げます。

1. 日時・場所

令和5年6月30日（金）10:00～12:00

茨城県立医療大学 管理棟2階特別応接室

2. 訪問医師 概要

Oleksandr Kulyk 氏

この度のウクライナへの侵攻により、頭や脊髄などに重い障害を患った方々を担当している医師です。ニューロリハビリテーションの分野で20年以上のキャリアを持っている方で、ご自身も車椅子患者をサポートするための装置やさまざまな開発に取り組んでいます。

3. 内容

医療現場におけるロボティックストレーニングの導入についての意見交換

4. 本学付属病院におけるロボティックストレーニング



筋肉が活動しようとする信号を捉え、モーターが駆動することで人の意思に応じた補助力が発揮され、ロボットの発揮する補助力により、歩行動作、起立・着座動作、立位保持などを支援します。当院では脊髄性筋萎縮症、球脊髄性筋萎縮症、筋萎縮性側索硬化症、シャルコー・マリー・トゥース病、遠位型ミオパチー、封入体筋炎、先天性ミオパチー、筋ジストロフィーの保険適用を受け

た8疾患に対して治療を提供することに加え、様々な疾患（脳卒中、脊髄損傷、整形外科手術後、脳性麻痺を中心とした小児疾患等）の患者様を対象として臨床研究を行っております。

取材報道に関する問い合わせ

茨城県立医療大学

<http://www.ipu.ac.jp>

総務課広報担当

TEL：029-840-2105 内線 3184

会田

webmaster@ipu.ac.jp